

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子 です



鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 Tel.3783-8833
日本共産党区議団控え室 Tel.5742-6818

このニュースについてのご意見、ご要望をお寄せください。

「介護崩壊」に拍車



介護報酬の削減 保険料値上げ 中止を



2月8日大井町駅前介護の署名宣伝

安倍内閣

過去最大級の介護報酬削減

特養6%削減 介護職員処遇改善に逆行

安倍自公政権は、社会保障のためと言って消費税8%への増税を行いながら、医療も介護も大改悪を強行。品川区は保険料値上げとサービス切捨てで、国の悪政を推進する立場です。「介護保険の改悪許さない、充実こそ」と一緒に大きく声をあげていきましょう。

厚労省は、介護報酬を全体で27%、特養ホームでは6%もの大幅引き下げを発表。特養の3割が赤字経営です。待機者が52万人にもなるものと、「介護崩壊」に拍車をかけ、若い人たちが希望をもって働けるようにするためにも介護報酬引き下げを撤回させましょう。

品川区

4月からの介護保険料大幅値上げ 月4700円↓5300円に

品川区は、4月からの65歳以上の介護保険料を基準額で月5300円に、600円もの大幅値上げを発表しました。10%増税延期を口実に、計画していた低所得者の保険料減額をごく一部のみとし、見送る方向。消費税8%増税の増収分は社会保障に使うべきです。

消費税増税分25億円、介護基金20億円を使って、保険料引き下げを

新年度の消費税は、品川区だけで25億円の増収です。さらに、品川区の介護基金は23区で断トツトップの20億円。非課税者の保険料引き下げは充分可能です。
(裏に続く)

要支援者からサービス取り上げ

さらに、高齢者からサービスの取り上げが狙われています。要支援の人からヘルパーさんやデイサービスが、全国一律に保障された保険給付から区独自のものに変わります。

品川区は介護報酬より2〜3割も低い単価を打ち出し、事業所からは「やっていけない」と悲鳴が上がっています。介護の仕事を、専門職からボランティアアなどに置き換えようとしています。



特養の増設など安心の介護制度に

みなさんとの運動で、11年ぶりに八潮に、去年は杜松小跡に開設。今後、平塚橋会館跡、みやこ荘と増設予定。さらに区は増設へ「適地をさがしている」と答弁しました。

しかし、品川の特養ホーム入所待ちは640人。これからできるのは202人分。さらなる増設が必要です。

改悪をはね返し、介護充実へ力を合わせましょう。

3月23日(月)午後6時〜

鈴木ひろ子事務所

中延2-11-17 37833-8833

無料

弁護士さんが対応します。
遺産相続や借金、離婚、医療や介護など、
どんな問題でもお気軽にご相談ください。

政府への要求申し入れ

日本共産党東京都地方議員団
日本共産党都委員会

2月12日、全都の共産党区市町村議員と予定候補者が政府・国土交通省、文部科学省、厚生労働省に対して切実な要求をぶつけての申し入れを行いました。

国土交通省には、安藤泰作前区議が、区内で進める3本の巨大道路計画が商店街や町会を分断しコミュニティを壊す問題や、環境への影響、住み続けた我が家から追い出されることの住民の不安を訴え、防災の根拠も崩れた道路の認可の取り消しを求めました。

厚生労働省には、私・鈴木は「厚生労働省のみなさんに、介護の現場を見たうえで計画を立ててほしい。介護保険の過去最大規模の介護報酬引き下げ、要支援者へのヘルパーさんやデイサービスの給付はずしは、高齢者からサー



↑○厚労省交渉で「介護保険の改悪をやめて」と発言する鈴木ひろ子。→○国会の合間を縫って、小池晃、田村智子、吉良よし子各参院議員、宮本徹、池内さおり両衆院議員があいさつに駆けつけてくれました。



ビスを奪い、事業者を廃業に追い込むことにはなるのではないかと発言。厚生労働省が「要支援の人に活躍してもらうことを支援する制度です」と答えたのには驚きでした。運動ではね返していきたいと思います。